
紅き伝説

レッド

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

紅き伝説

【Nコード】

N0161Z

【作者名】

レッド

【あらすじ】

火災現場で死ぬ寸前に少女と出会い転生

転生先で彼を待ち受けるのは！

ブローグ

俺の名前は高橋 俊。年は23才

さていまの状態を説明しよう。

高卒と同時に消防士になり何度目かのビルの火災現場。

別に危険な現場ではなかった。慣れたものだった。

命綱を付け、先輩と一緒に逃げ遅れが居ないか屋内に侵入したまでは良かった。

火災は大したことなく煙が凄いただけだった。そのため排煙をするべく先輩と離れ窓を開けに行ったのが思えば俺の運の尽き。

いや始まりか……………

先輩と離れ排煙をするべく窓を開けに行ったらまだ確認していない部屋を発見。

逃げ遅れが居ないか中を開けてみる。

部屋を探しても人は居ないか…窓も無いし部屋を出ようとして俺は目を疑った。

扉が無い！

おかしい、それにさっきはつつすらだった煙が濃くなり周りが見えない！！！！！！

なぜだ！やばい！

壁伝いに歩くも出口は見つからない……………

ジリリリリリリリリ！！！！

しまった呼吸器の残量があと僅かだ！！

呼吸器が渋くなってきた……………

もうダメか……… 思えばいい人生だったのだろうか。

そういえば俺の周りは何時でも大変だったな………

学生時代は、俺は成績は普通より上だったのに何時もクラスで悪く、教師から怒られ消防学校でも同じ

他にもいろいろあったがもう呼吸器がやばいな………

そんな時俺の前に花びらが

「サ……ク……ラ……？」

何でここに？

そして目の前に1人の女の子

いや少女か………

さっきは居なかったのになぜ？

少女「生きたい？」

ああ……………幻か……………

少女「生きたい？」

もうやばいな呼吸器の計器も0を指している。息もできない。

まあ幻にこんな言うっても仕方ないけど

「ああ生きたい、そして知らない世界を旅、いや冒険してみたかったよ」

そして、俺の意識は闇に落ちた……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0161z/>

紅き伝説

2011年11月30日21時47分発行